

木と生きる幸福



2020年12月期 第2四半期決算説明会
事業環境と今後の取り組み

2020年11月13日

住友林業株式会社

代表取締役社長 光吉 敏郎



目次

➤ 事業環境	2
➤ 第2四半期実績および通期予想	3
➤ 今後の主な取り組み	5
➤ 事業とESGへの取り組みの一体化推進	7
➤ 株主還元	9

- 国内外の景気回復にはなお時間を要する見通し
- ウィズコロナの時代に適応した事業戦略を展開

□国内

- コロナ禍への対応に留まらない働き方改革の継続。
- 対面接客では感染予防を徹底。
- WEBを活用した営業活動に注力。資料請求数は倍増。
- 注文住宅受注は前期比プラスに転じる。

□海外

- マーケット動向に応じた機動的な事業を展開。
- 米国住宅は低金利・中古住宅在庫の低水準を背景に好調。
- 豪州住宅は各州で状況異なる。引き続き注視が必要。

□海外住宅・不動産事業が好調に推移し増益

(億円)	20/3期 2Q	20/12期 2Q	前期差	前期比
売上高	5,297	5,259	△ 38	△ 0.7%
営業利益	250	269	+ 19	+ 7.5%
経常利益	257	287	+ 30	+ 11.8%
当期純利益	126	163	+ 37	+ 29.1%

□直近予想から上方修正

□米国戸建分譲住宅の販売は今後も堅調の見通し

(億円)	20/3期 3Q累計	20/12期 予想	前期差	前期比	直近 予想比
売上高	8,027	8,210	+183	+2.3%	+5.7%
営業利益	383	350	△33	△8.5%	+55.6%
経常利益	431	375	△56	△12.9%	+56.3%
当期純利益	226	205	△21	△9.3%	+86.4%

※海外子会社の損益取込期間：20/3期3Q累計は1月-9月、20/12期は4月-12月。

※当社は退職給付会計に係る数理差異を発生年度に販売費及び一般管理費で一括処理していますが、上記の20/3期3Q累計および20/12期予想の各利益は数理差異を含みません。

※直近予想比は2020年8月12日発表の通期予想との比較。

今後の主な取り組み(1)

□ 木材建材

多様な収益源の構築を推進

- ホームエクспレス構造設計株式会社のサービス開始。
- 発電所向け木質バイオマス燃料の長期安定供給体制構築。

□ 住宅・建築

収益性改善が喫緊の課題

→より付加価値のある住宅をご提供

- ・木の特性を活かした当社ZEH住宅の拡販。

→営業効率の向上、施工合理化

- ・WEB戦略の推進、ITを活用した受注マネジメントの向上。
- ・プレカット化、ボトルネック工程の解消を図り工期短縮を進め、同時に産業廃棄物の削減、顕在化する職人不足にも備える。



登録制WEBサイト、MYHOME PARK

今後の主な取り組み(2)

□ 海外住宅・不動産

グループを牽引する事業として一層の拡大を目指す

→オーガニックグロースおよび新規エリア進出

- ・ Knight Homesの事業を取得予定。

→効率的な販売用不動産投資の継続

- ・ 分譲住宅事業の収益最大化。



Knight Homes外観イメージ

□ 資源環境

環境経営の要として事業を拡大

→再生可能エネルギー事業の推進

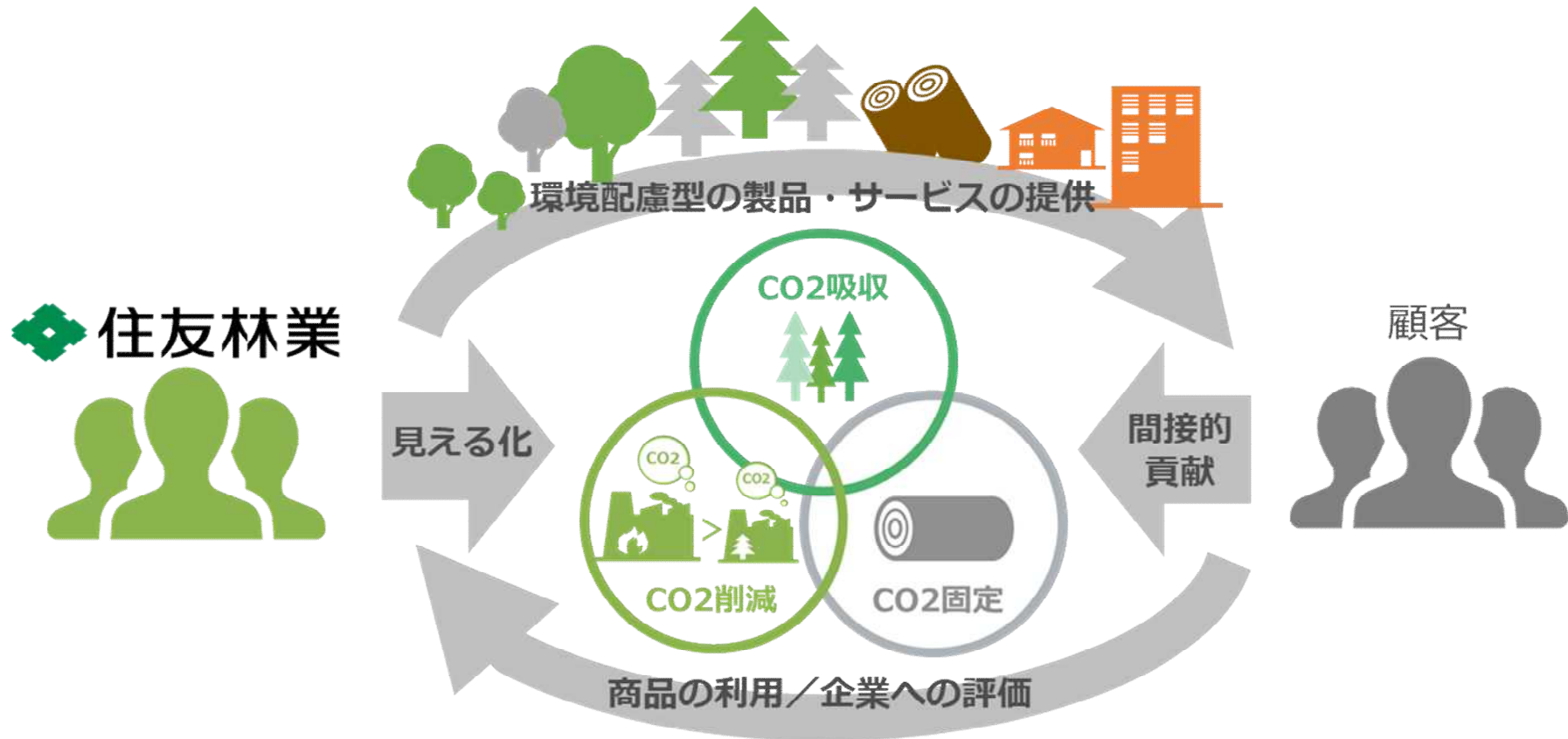
- ・ 杜の都バイオマスエネルギー(75MW)への出資。



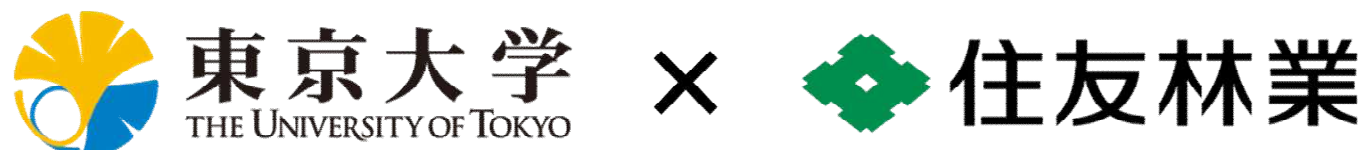
杜の都バイオマス発電所

事業とESGへの取り組みの一体化推進

□ ESG・SDGsへの取り組みを事業と一体で推進し、
当社グループの成長に繋げていく



□最先端の研究と当社知見を活用し新事業を創出



木材利用の新領域創出

1 木や植物の 経済的価値の向上

バイオマス科学をはじめとする木の科学によって、これまでの木材を超える新たな経済的価値を創出

2 森林資源の 公益的価値の顕在化

多角的な視点から森林資源の公益的価値を可視化することで、有益な木材の計画的・安定的な供給に貢献

3 木や植物と 人の関係の定量化

木が人に及ぼす安らぎ効果や都市緑化と生活など、木や植物と人との関係性を探求した新たな価値の創出

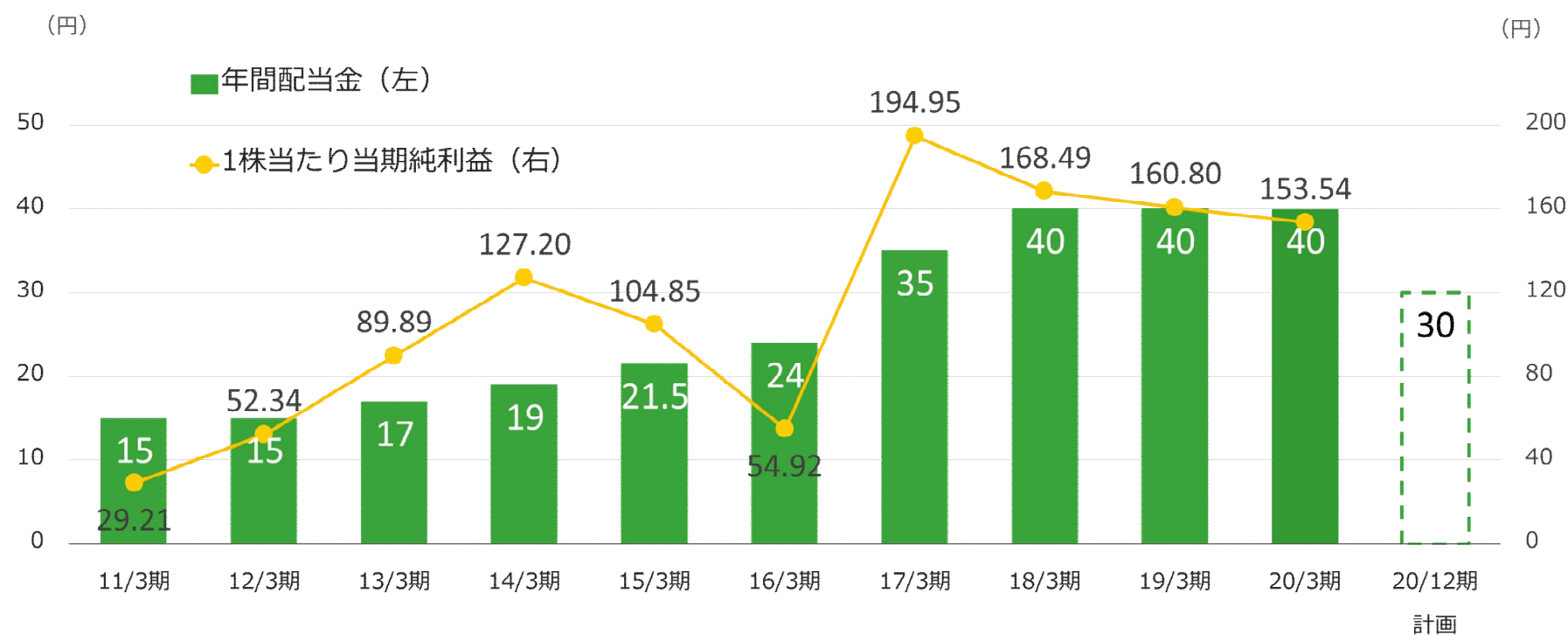
グローバルコモンズへの貢献

本協定では木材利用の新領域の創出を通じて、経済的価値の向上と公益的価値の顕在化などフィジカル面からの実現にとどまらず、さらにはサイバー空間からの取り組みとの融合により、多角的にグローバルコモンズに資する協創を推進する

株主還元

□基本方針：継続的かつ安定的な配当の実施

9か月間となる20年12月期の配当金額については、前期までの通年40円を前提に対象期間に応じて中間・期末合わせて30円を予定。



-
- ・本資料に記載した見通し及び事業計画等は、資料作成時点において入手可能な情報に基づく当社グループによる仮定及び判断に基づくものであり、その正確性および完全性を保証し、また約束するものではありません。
 - ・見通し及び事業計画等は、今後変更することがあります。

【お問い合わせ】
住友林業（株）
コーポレート・コミュニケーション部 IRチーム
icom@sfc.co.jp

木と生きる幸福



2020/11/13